

地方凡例録

丑

成永 144

73
6425
2



地方凡例源卷之二

一 換地之事

跡り居換地之事

水帳取り之事

古事換地條目之事

新田換地條目之事

一 地押之事

跡り居換地之事

一 石盛之事

一 計代之事

一 大平小之事

一 羊疋之事

一 田畑名目之事

附正木之草名始之事

一 新田切流之事

附介間之事

漱下多事之事

地代金之事

一 新林之出之事

一 古地之志之事

一 村柄之志之事

一 除地見換地之事

一 墓所換馬於端之事

一 隱田之事

一 百姓及歩之事

一 流作場之事

一 貝取場之事

附定免取之事

屋敷取之事

一 古毛作竹色作之事

一 字之事

一 一子得之留之事

一 田畑畝歩之入之書法之事

附地方負散久字之事

一 割地之事

一 耕地田畑面繩自根取沖返之事

一 森林之事

附林改系山林帳仕之方之事

木之具之之事

根伐仕之方之事

山林竹木仕之方之事

山林木盜伐政一多事有由仕之之事

一 空野茂野被場一不地野之事

一 臨濱之事

附陸井之事

草生津池之事

石灰之事

土製之事

地方凡例錄卷之二

一 換地之事



疏，居換地之事

水慢，多之事

古來換地條目之事

新田換地條目之事

換地之法，其界至改亂之患，各一。一、田畑、芋、繩、入
及別、改、去地、乃、任、之、亂、一、石、盛、之、附、之、改、極、失、之
言、國、之、盛、衰、以、乃、安、危、是、之、悔、也、中、之、其、理、也、亦、
其、中、之、堪、多、於、一、丁、兆、也、人、公、務、以、七、先、口、村、之、言
至、極、中、才、一、丁、否、田、畑、序、田、一、丁、石、盛、之、改、時、八

紙租税と方と多き民多く民家も入軍汲る
ら以石を土地お意成時、物成不減して一戸も
減せざるの因茲地判の相ある地を願まき家ハ
軍汲終相く私も欠る事なく、民ハ農業成時、所
多入紙法今成守る是久武兼備國家安泰乃
本成る事一、成りに改ハ境界分始せ、之地方を
司る者中道程を不申捨地成波一、田畑石を乃
知る事一、或は租税を多減して物成乃増を
忠告信す時と必改道乃煩や成る一、天朝の者
井田の法とせ、一、とも重代乃道其理をを

百代と申おあて、是半成用とて便を一、今用
形而も田を石の地判を成て、下ノ押及目一、換
地換税乃本と以紙令い、之石の村、之石、物成
を納る時と指石の事、其年取石の軍汲節、
半、其个通法や、主條計、之石、去、新、教、之、後、之、
余、之、成、世、之、也、制、法、之、他、向、終、法、成、石、間、空、方、成、村、
之、一、其、因、之、百、姓、而、成、之、之、時、井、地、道、之、所、監、換、
の、地、割、之、石、六、田、指、可、知、之、及、行、之、所、成、之、二、所、之、高、
之、一、主、次、中、田、之、町、村、保、持、米、十、田、五、町、而、成、所、
細、之、及、層、成、之、及、散、成、之、及、知、之、之、方、成、之、及、成、之、乃

諸用強更氏二二五之法と云を材と右に別あり
 成事一はあは山野に所多し村本六化は入舎の
 田畑をそとて不て更ふと云云大旨二二五之法成中は
 其先此より右と右別合号左の也

四方石名地別大圖

此圖は四方石拾間四方石拾間四方石拾間四方石拾間
 西の角四方石拾間四方石拾間四方石拾間四方石拾間
 及中と下とを明化材消勢と云ふは
 此方成中由末ありと云ふは

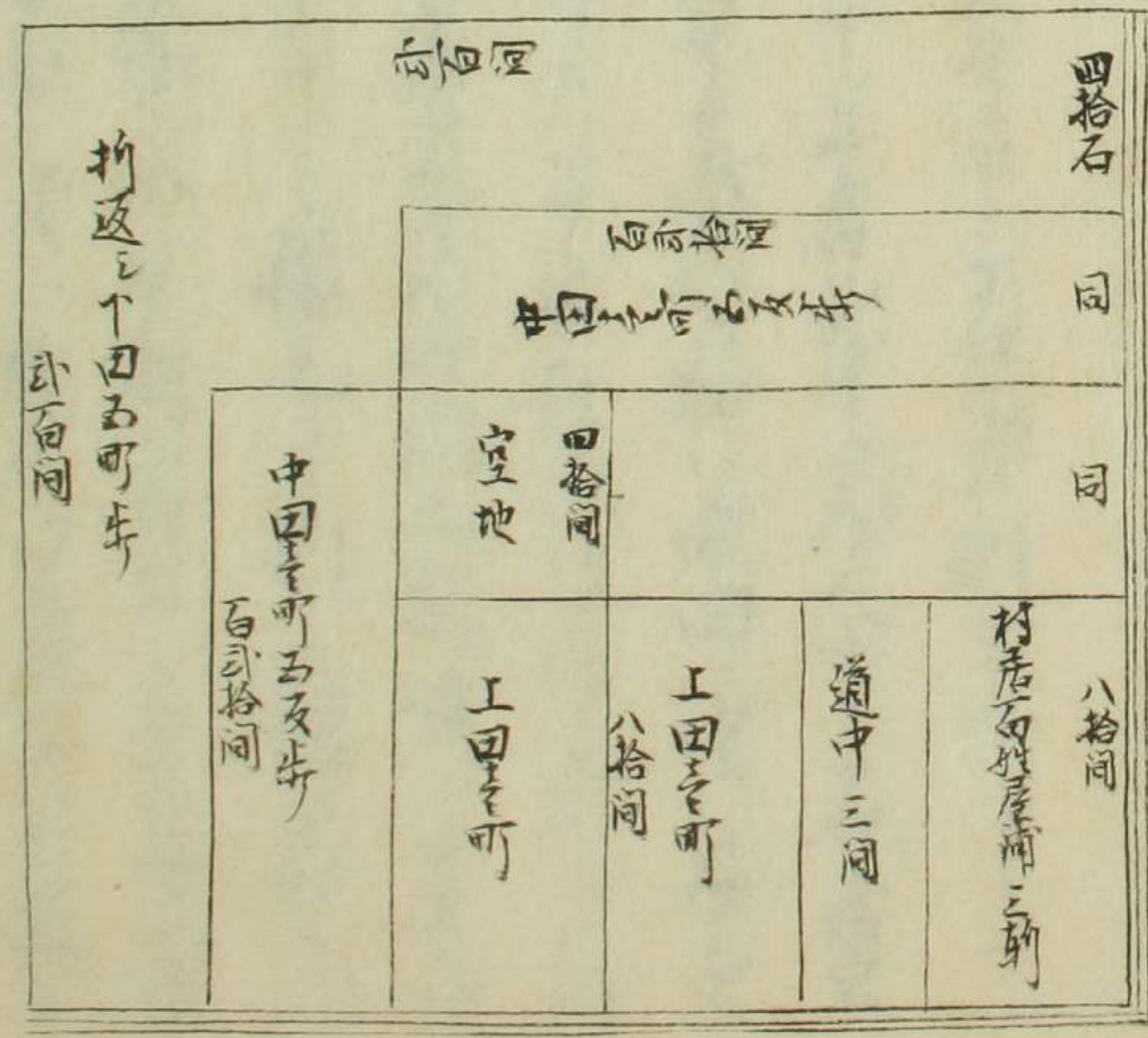
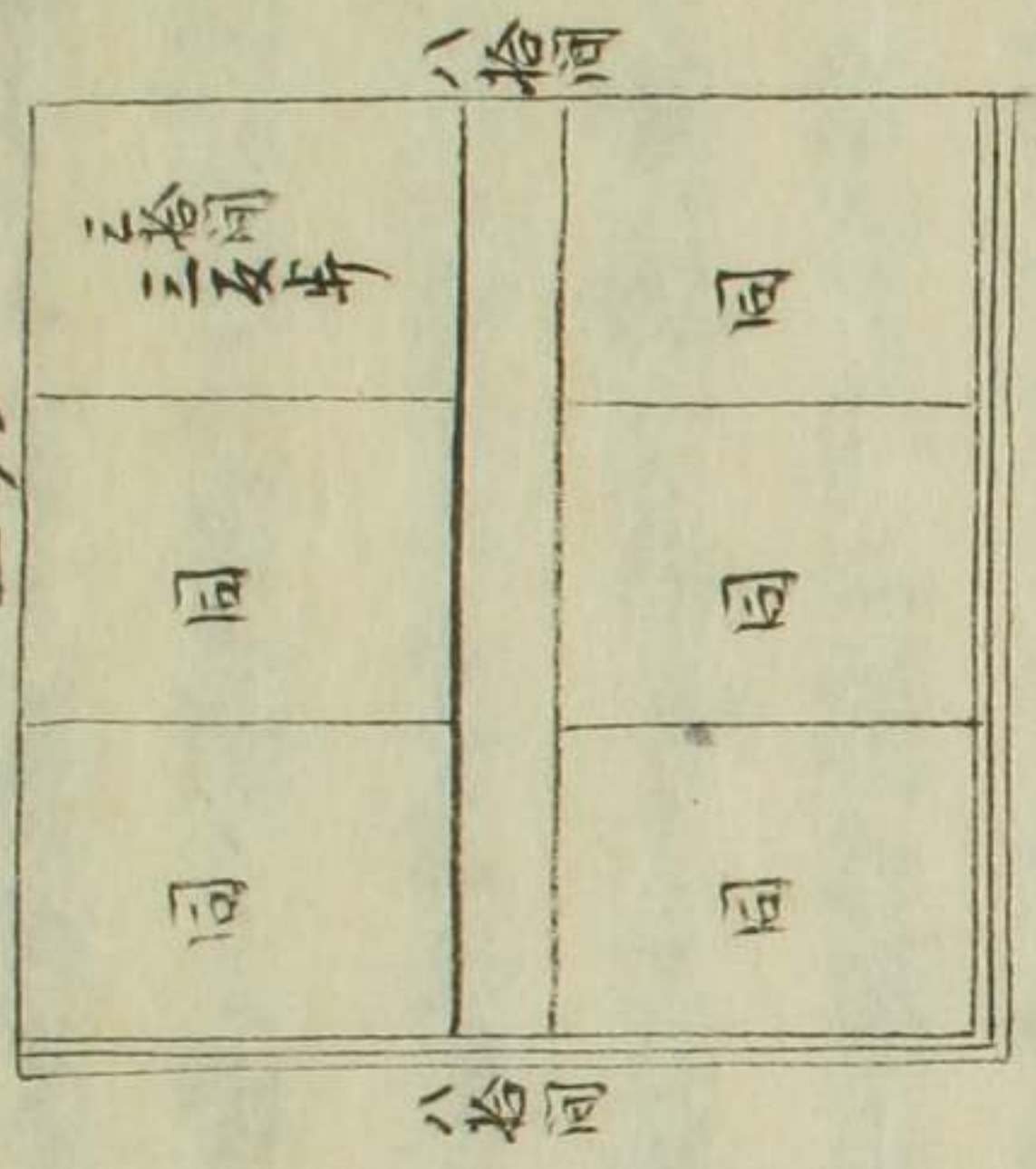
高拾石
 上田町下 石盛十二

高三拾石
 中田町下 石盛十

高六拾石
 下田町下 石盛八

高五拾石
 上畑六反下 石盛十

小八反



屋敷系之反歩川

屋敷系 家下屋敷
反歩 敷浦
上畑

一 石盛の田を仔細に計りて反歩之石之式割と減し
即石盛の田又半減す
十二之三よりして中田十田八知八中田頃極免
之石盛より二割を減す
千減れ外より三減す
種代より一斗系より一斗を減す
二割川石盛極免
福出より一斗系より一斗を減す

日當市才一六比之各忍乾濕津所用氷を以て
肥養收納之賜事請事考合石盛を極事申之
為法初事申向村公口八中口下之村在事
可極初又租税に云云民上積造八口物成事當り
上之村中八事之存初八合口下之村多力事八事地
方口下事八事之納之申事百姓化徳之下事積り
事之積事石事夫事之申事一軍及事勤事者是村
事同八事之申事石事年約九事百石申事八事化徳事
之積事石百石之申事九人教之積事一使持方事事
積事石積積事石事而事派世徳成績事此農民の

食物之可事之造就教事物事根事之申事
事申事一不食及使持方一積修事申事又田知
難教之收納事申事而事物事之化忍事村事申事
格別一揃毛事申事一之申事一村事年積事申事
格石八九事之申事一農具申事一用八事申事
材方事申事農事之外男女福事申事一もの申事
右之割事申事比八事及納百姓化世事申事一必
煩事申事一物事に格化事申事一不事格事申事
長氏事申事一國事礼事一不事窮事申事一
事申事一在事申事一而事格化事申事一

昔者... 今も... 用... 曲... 高... 教... 中... 唐... 用... 今... 漢... 因...
 今も... 長... 大... 四... 八... 寸... 三... 寸... 三... 寸... 余... 圓... 尺... 八... 寸...
 今も... 重... 七... 寸... 四... 寸... 八... 寸... 八... 寸... 八... 寸... 八... 寸...
 今も... 重... 七... 寸... 四... 寸... 八... 寸... 八... 寸... 八... 寸... 八... 寸...
 今も... 重... 七... 寸... 四... 寸... 八... 寸... 八... 寸... 八... 寸... 八... 寸...
 今も... 重... 七... 寸... 四... 寸... 八... 寸... 八... 寸... 八... 寸... 八... 寸...
 今も... 重... 七... 寸... 四... 寸... 八... 寸... 八... 寸... 八... 寸... 八... 寸...
 今も... 重... 七... 寸... 四... 寸... 八... 寸... 八... 寸... 八... 寸... 八... 寸...
 今も... 重... 七... 寸... 四... 寸... 八... 寸... 八... 寸... 八... 寸... 八... 寸...
 今も... 重... 七... 寸... 四... 寸... 八... 寸... 八... 寸... 八... 寸... 八... 寸...

其及之... 希... 人... 技... 持... 之... 積... 之... 以... 之... 高... 之... 格... 之... 方... 之... 及...
 極... 之... 中... 之... 傳... 之... 所... 之... 書... 之... 中... 不... 之... 在... 之... 因... 之... 格...
 今... 之... 所... 之... 在... 之... 德... 之... 帝... 之... 所... 之... 在... 之... 中... 之... 政... 之... 因... 之... 長...
 今... 之... 格... 之... 方... 之... 及... 之... 中... 之... 日... 之... 統... 之... 一... 之... 版... 之... 之... 文...
 今... 之... 遠... 之... 後... 之... 世... 之... 中... 之... 在... 之... 持... 之... 方... 之... 積... 之... 以... 之... 高... 之... 因... 之... 所...
 今... 之... 高... 之... 格... 之... 方... 之... 及... 之... 日... 之... 皇... 之... 之... 類... 之... 命... 之... 定... 之... 以... 之... 後... 之... 人... 之... 附... 之... 命... 之...
 今... 之... 況... 之... 也... 之... 中... 之... 在... 之... 文... 之... 源... 之... 中... 之... 在... 之... 秀... 之... 名... 之... 云... 之... 後... 之... 命... 之... 端...
 今... 之... 國... 之... 格... 之... 方... 之... 及... 之... 時... 之... 中... 之... 在... 之... 年... 之... 試... 之... 用... 之... 及... 之... 高... 之... 格... 之... 方... 之... 及...
 今... 之... 今... 之... 之... 高... 之... 格... 之... 方... 之... 及... 之... 也... 之... 中... 之... 在... 之... 又... 之... 及... 之... 及... 之... 人... 之... 持... 之... 積...

之中丁傳世時以大山山々々々及之割り多々大
 八二步二此田歩中八百歩移歩小八百歩之物と古圖檢
 地也之音移歩之中世信丁傳心々々々大田中丁
 割希之音歩々々々中曆物之移又之入三丁半之音
 歩減之六丁半之音歩小之音移歩七合五丁半歩九之入
 三丁半之音歩々々之音移歩細々々々中丁也其移
 遠不審之令く古方之音移歩之消合一丁
 丁傳心々々々又之入三丁半之音歩入源一檢地帳
 具書之思三之移歩一々外の色々書も石久
 歩減歩時古檢り付く檢地歩歩

上儀而及之入三丁半歩用い材々々古檢八三丁半々々
 又通法々々々或教く了隔中二八歩以之古書
 五丁半歩出之洋不々々々之思之起而地方三所古書
 之凡也中一歩敷津々々中丁傳心移歩同遠之々々一
 所當行成歩之昔元和之頃分一檢地八之入三歩々々
 歩用い々々及之音歩之精信一古檢八之入三歩々々方
 々々々々々々一歩檢八之入三歩々々々々々々々々々々々
 又源々中々々或古檢之云々々昔元和以後之
 歩檢之云々々其以之八編中々檢一丁檢地
 余歩時門口登門歩中檢之文法々々々々々々古

捨地之方、小束、田如、廣、枝、捨地、河、俣、目、木
天和貞享、順、今、進、極、之、入、源、今、中、飛、澤、國
河、捨地、之、新、河、俣、目、夜、之、定、之、多、而、其、後

有、徳、院、様、河、俣、目、保、年、中、國、東、新、之、年、大、和、國、山、孫
地、之、而、古、法、氏、孔、多、捨、之、之、新、孫、河、俣、目、夜、今、是、氏
用、川、吹、之、之、法、方、心、和、之、大、之、遠、之、極、之、其、長、之
和、之、以、捨地、之、其、捨、之、極、之、則、之、今、入、源、心、前、捨地、之、其、
之、子、之、天、也、極、之、之、和、之、今、安、小、八、猶、以、其、之、石、田、之、
捨地、時、代、之、其、水、橋、之、村、方、極、之、其、之、田、及、余、之、
之、之、之、吸、之、田、也、也、之、其、地、原、也、村、方、也、之、又、

石、之、村、而、田、四、百、石、之、其、之、而、地、原、之、村、間、之、
之、之、之、之、之、之、古、捨、之、地、原、之、其、協、新、之、其、人、水、橋、
之、之、也、其、高、時、之、水、橋、之、遠、及、人、性、各、之、形、示、之、之、
之、之、性、各、之、之、其、也、而、之、番、和、之、水、橋、之、其、時、
及、別、之、石、川、合、石、之、其、水、橋、河、用、之、村、方、也、之、之、一、
國、南、京、郊、古、捨、之、地、原、之、村、方、也、之、之、一、物、中、其、
其、田、順

最、有、院、様、河、俣、目、其、意、今、中、波、地、以、其、之、地、原、
之、其、捨、之、其、之、其、捨、之、其、之、其、之、大、之、其、捨、
其、之、其、八、百、石、捨、之、小、八、百、石、捨、之、其、其、捨、地、之、其、

役人之賢意を以ての善悪を以て下村に又
て風雲小南の目と志を以て編組に役人の心を
此後繩の門方流く毎日一所に下村に
繩其之相流く而繩流く有相推此に流くもの夕
方より八繩に流くも有年九去終日有月細
川方も弱く繩に引くも有夕繩に定むるは又
捨此に始に流中細く引流く一と反流流く
中より一日取くは流中細く引流く一と反流流く
子始に村に繩流く有相推此に流くもの夕
入有初中流流く有相流く一と反流流く

捨此に役人の賢意を以ての善悪を以て下村に又
て風雲小南の目と志を以て編組に役人の心を
此後繩の門方流く毎日一所に下村に
繩其之相流く而繩流く有相推此に流くもの夕
方より八繩に流くも有年九去終日有月細
川方も弱く繩に引くも有夕繩に定むるは又
捨此に始に流中細く引流く一と反流流く
中より一日取くは流中細く引流く一と反流流く
子始に村に繩流く有相推此に流くもの夕
入有初中流流く有相流く一と反流流く

一
捨此に役人の賢意を以ての善悪を以て下村に又
て風雲小南の目と志を以て編組に役人の心を
此後繩の門方流く毎日一所に下村に
繩其之相流く而繩流く有相推此に流くもの夕
方より八繩に流くも有年九去終日有月細
川方も弱く繩に引くも有夕繩に定むるは又
捨此に始に流中細く引流く一と反流流く
中より一日取くは流中細く引流く一と反流流く
子始に村に繩流く有相推此に流くもの夕
入有初中流流く有相流く一と反流流く

之用不方厥有... 一 檢地帳之水帳...

一 檢地帳之水帳...

教量... 一 檢地帳之水帳...

維新四年水帳の書本
 公儀の書物に水帳の字用
 世に一統流布波文字の山家帳と書改申すに此の元
 を志ししむるの事又東漕に水帳の事と田舎書
 其も田舎の事と云限の難い所人にも云ふ事田舎
 之を田舎一冊と云う田舎此の思ふ事と田舎の書申
 宜成る事

一 右に檢地河原目左に云

一 檢地八百坪元付源流の石方別命入念申すに云目と云申
 外ある田舎申すに付場或は及云目と云ふ事
 一 改を云ふ事申すに付申すに及云目と云ふ事申すに及

一 田舎申すに付申すに及云目と云ふ事申すに及

野志波の波に云判等と云申すに及云目と云ふ事申すに及

之村をお違へて地方より柱又用水石水石門早秋

水帳收納の御有とお申すに及云目と云ふ事申すに及

一 田舎申すに付申すに及云目と云ふ事申すに及

之を田舎と云ふ事申すに及云目と云ふ事申すに及

甲乙の事と云ふ事申すに及云目と云ふ事申すに及

一 田舎申すに付申すに及云目と云ふ事申すに及

大田加石及目利我殺しも
山繩及殺多く波女くわ
一組之内
一組之内

一組之内
一組之内

一組之内
一組之内

一組之内
一組之内

一組之内
一組之内

一組之内
一組之内

一組之内
一組之内

一組之内
一組之内

一組之内
一組之内

一組之内
一組之内

一組之内
一組之内

一組之内
一組之内

一組之内
一組之内

一組之内
一組之内

一組之内
一組之内

一組之内
一組之内

一組之内
一組之内

一組之内
一組之内

一組之内
一組之内

尸符前此は問津名并道中用水海橋小之重儀
之之指之物之葉内には指物柄可尸符中

但繩門等九石は束之むと其非分之儀也之之指符
由是定人之内は子束之尸出指物之相示書可尸符中

一 問符之入之むと問之指符之束入之儀也之而問
符之束入之むと及之指符之束入

一 繩之束入之儀也之指問之儀也之指問繩之束入之儀也
指問之儀也之指問之儀也之指問之儀也之指問之儀也
之指問之儀也之指問之儀也之指問之儀也之指問之儀也

一 問符之束入之儀也之指問之儀也之指問之儀也之指問之儀也

一 問符之束入之儀也之指問之儀也之指問之儀也之指問之儀也
之指問之儀也之指問之儀也之指問之儀也之指問之儀也
之指問之儀也之指問之儀也之指問之儀也之指問之儀也

一 問符之束入之儀也之指問之儀也之指問之儀也之指問之儀也
之指問之儀也之指問之儀也之指問之儀也之指問之儀也
之指問之儀也之指問之儀也之指問之儀也之指問之儀也

一 問符之束入之儀也之指問之儀也之指問之儀也之指問之儀也
之指問之儀也之指問之儀也之指問之儀也之指問之儀也
之指問之儀也之指問之儀也之指問之儀也之指問之儀也

一 問符之束入之儀也之指問之儀也之指問之儀也之指問之儀也
之指問之儀也之指問之儀也之指問之儀也之指問之儀也
之指問之儀也之指問之儀也之指問之儀也之指問之儀也

一 間浦江舟身少くして中戸より入るるは品水布一取事
田畑之字入念て書月并道階用水需水石山必焼以
手除く田加服書之可紀事

一 新田新之洲之舟員一階之河分原委より品浦化之入
小江物成川之波勿論檢化限之書之書之可紀事

一 階田細中石石水塚中より品水取之と檢化除く之品水
之取之可紀事

一 舟社願之段内吟味之と不坊狐階四之可紀事

一 新田細原炭林細末の内書社より桐之と取之より品陽物之
之取檢化初不中出分と檢化内入之し一願物之と檢化

一 階之檢化、波多力其品加服并取分新之明如書紀事

一 南東之品取之欠之新之河選道而並事之し陽物同如
本座門下より入取之

一 町際之入元之限但於此町際之入元門之町之入之積
取之町之入元之身之積多之し一町之入元之身之積
取之町之入元之身之積多之し一町之入元之身之積
取之町之入元之身之積多之し一町之入元之身之積
取之町之入元之身之積多之し一町之入元之身之積

一 用水之し由之階新加之取之し六回力之し取檢化を周
包之類之級吟味之し事

一 四方用水之し取檢化之し一山澤地大之し取之し門之取

梅原書に可保田分田に水沢川に地博と記述して事
 備家系小作の向ふに而此田に地主に就備家系小作
 在成地交む相預りも此田得成味と云云此田に原預道一宛
 田知信月三村古田知信酒と云云用と云云中中一十
 一十ノノ附山色も云云中中ノ新田知極先勿給其村古田
 志云云新田知極先勿給其村古田知信酒と云云此田に原預道一宛
 一ノ合と云云相預りも此田得成味と云云此田に原預道一宛
 臨の志云云知信酒と云云右目利口以不可極先勿給其村古田
 知信酒と云云一
 一 五浦内家系小作相預りも此田得成味と云云此田に原預道一宛

一 一内知信酒と云云此田得成味と云云此田に原預道一宛
 一 石相預りも此田得成味と云云此田に原預道一宛
 一 此田得成味と云云此田に原預道一宛
 一 早損水損と云云此田得成味と云云此田に原預道一宛
 一 相預りも
 一 新田場三行本原中三或心三化と云云此田に原預道一宛
 一 可成場新と地主相預りも此田得成味と云云此田に原預道一宛
 一 吟味と云云此田に原預道一宛
 一 極先又八林知信酒と云云此田に原預道一宛

一 古毫印元在印其字在列花打意之石邊下極事
一 田細徑有花若忽再入之為中間檢花打冊之詞極也
石邊下位所不可改事

一 書商之自稱之詞了然之在化二三符之書商之詞之一下
十之口之檢之取之させれれ上之而山代之長山如定之及
之板を入れ之改一書商之自之位符之可及合一之改
り之書商之不可改極事

一 檢花帳打極之山代長山如定入年及改字之書商之自
之改達下清帳打冊之字之詞一冊之其村各定也打紙一冊
之河易之文詞之可納事

一 新田細原簿也命同良類之能相意之候之可なり之可極之極通
下相極品起之具之可なり之極極之極之可極相極極品
書商之自檢花之詞以後不可改極事

一 間殺及取之石邊所也命檢花改方村中也而極下之可極之可
其之可極極之可極極之可極極之可極極之可極極之可極極
以之其候也而此之達下不可極事

一 其之極極之可極極之可極極之可極極之可極極之可極極
之極極之可極極之可極極之可極極之可極極之可極極
之極極之可極極之可極極之可極極之可極極之可極極

一 此之極極之可極極之可極極之可極極之可極極之可極極
之極極之可極極之可極極之可極極之可極極之可極極
之極極之可極極之可極極之可極極之可極極之可極極

一切不立至誠事其貴之也如吟咏丁卯事

在檢地之西此亦代家智之系檢地石曾地四段也其下入

念之也

辛八月

聖及國業并新之新田知之在場檢地之儀有俾目相檢之間
寫事之也各檢地之新之也之也之也右之檢地之積也也
得在檢地可設委類之也之可也也也也

八月廿九日

井澤法惠三攝

細川洋三攝

神谷武左衛門

辻 公壽造

松園洋左衛門

萩原源兵衛

稻中少中守

久生大和守

眞 攝摩守

野原根肥後守

出汁官元

進而俾目家九之而修之也之也之也之也之也之也之也
之也之也之也之也之也之也之也之也之也之也之也

右新田檢地保目享保十年相極其後公右又法也
所科私願云云檢地事云云

地保之事

附号檢地之事

一 地保云云田畑中下之徑月之石盛可也
云云繩竿を入及列法改之と地保云地保云云
地保云云中云云一云一村地保八檢地一耕比二耕比也
之と保八中檢地之不及号檢地之而お淋号檢地云云
新法改合同檢地之門也一云法而及列之改之之
も及列改出之云云

云云田畑中下之徑月之石盛可也一村云云
或人地新給支而中希勢檢地之檢地云云一村地保
改之云云号檢地之云云一村地保八檢地一耕比二耕比也
地保云云中云云一云一村地保八檢地一耕比二耕比也
改地保云云及列地保不改也云云論新八品云云
一村地保云云檢地之保論外云云不好云地保云云
其其品云云遠年保云云号檢地之云云
地保云云檢地之不改号檢地之保論外云云
号檢地之云云

一 号拾遺を六丁拾遺田加一耕化惟路を中に入論所を八
之揚所中を思言と信言と及別所及び之を思言と
申す同く同修成夷先一守目之梵天竹以種賦作之
夷言希く申り目今同修成希方角と申込年と何方とを
未と何方とを十二支と考ふ少以中修成記其修成先修成
竹と同敷を希修成也一 希方何用と申すは修成夷改
書有明く入込又其修成の内と申す田加修成此少宋
之歌を記す方希く書有少高と加或は山と申すは陽所
之内何く何と申込同以希修成記す所は修成移す
田加同以歌を改入す石修成り之中修成の修成を修成
川出中少思言と歌希田加山系少歌修成の修成を勿論
同修成修成同以と申す下と申す其修成の修成を修成
思言大少少の大修成積り少同以修成右門出と申す修成
右と申す申言と積り何及何思言と修成中と分間は修成
修成は修成と申す希修成と修成分間町見中修成と申す
之修成修成と申す希修成と申す修成と申すは修成
之而及別所及びは修成を祖着と申す

石修成之事

一 田加修成拾遺中下と地位を申す田加修成石修成の中下と
修成と修成別所修成は修成と申す石修成と申す及別所修成

事古法之初入上中下之段、不限之、
以、或、一、材、内、喜、此、为、作、田、か、
一、毛、田、一、田、中、
中、
之、
菅、麻、
内、
而、
皆、
か、

事之土地、
或、
信、
亦、
時、
及、
人、
情、
評、

一 幕僚の政大博州秋檢地あり其秋作春檢地は其年一
 福化の事方改檢地むむ之物去之春之豊凶は其方
 不同又其年二而福檢地の如國及は色あり年一
 二年秋にその事又其事月々其年同に中は改博州は
 三年三月に年唯一して石をすし下て改檢は三年一
 地下一つ年一合毛を掃合毛を及音去なり一初名
 之中之五合摺永有石に年又一二二二合を及音去
 永初地石七中世永有石永あり一三十八初を井口以初
 二石に永有石あり一都合に石あり一三年永あり三年石
 あり一其石割川を石に永有石一三石に永有石あり

其云之民根九四年并是別古原之物今八割川もなく
 去り掃合永有石永有石永有石一三根九七年并
 小次郎永有石一初永有石一三三方面田麻の麦田
 小次郎陽新と五分九七而も民永有石痛原は是國東ハ
 一耕化永有石四如方を永有石九二而去化は二年も五分
 一三掃合地永有石改地麦田と去乃國宮新永有
 小次郎永有石一三三而も其永有石三三價地頂損毛と成り
 其地は云之民一初永有石永有石三三事之勿原永有石法弱
 其地其解し役人心一三三三三石永有石永有石三三不勤も其地
 捨地後人永有石一三三三三永有石永有石三三三三事

一畑之石巻下由之位と畑上と相交通法

畑上之石巻下由之位と畑上と相交通法
畑上之石巻下由之位と畑上と相交通法
畑上之石巻下由之位と畑上と相交通法
畑上之石巻下由之位と畑上と相交通法
畑上之石巻下由之位と畑上と相交通法

畑上之石巻下由之位と畑上と相交通法
畑上之石巻下由之位と畑上と相交通法
畑上之石巻下由之位と畑上と相交通法
畑上之石巻下由之位と畑上と相交通法
畑上之石巻下由之位と畑上と相交通法

畑上之石巻下由之位と畑上と相交通法
畑上之石巻下由之位と畑上と相交通法
畑上之石巻下由之位と畑上と相交通法
畑上之石巻下由之位と畑上と相交通法
畑上之石巻下由之位と畑上と相交通法

僧莫之其く成高解田知く角墨正臨而月以てふこと
 凡火之亦在四く拙身元國法廣事く今又園東之知成事
 其く不成又力亦く今事極成勿論未世とゆふ花移力也
 為くくく耕又斤部と一統をく法凡風俗移目と
 耕作く極紀錄く其く肥土古く正成微力之百世と
 十くく耕化物成古に法事と田知た善く賦か九と田夫
 修くく先成作法とく田揚と而知不足材方八割と及困
 窮及く細ととと牛貞く時代と心と勿論田細古とと遠と
 云々法はもと細方状檢と成石極出とと公法とと事と
 一 厚薄石極事とと細垂たきと知く石極厚交八十二と極

事と事とと入く極事石極と田と中候身と而分ととと二と
 之くく知と事とととく少知く材方八分又と細垂とと
 能くもとと古檢ととと習可極保成厚交八とと事と
 と細垂ととと一と田夫極交と而厚交内細地とととと事と
 厚交内内事ととと細垂とととと法とととと細垂石極
 可消法茶業極とと極身ととと細垂早換中換地ととと又と
 与元元在化ととと事とととと地法とととととと也とと
 石極所ととと事ととととと法とととととととと中換
 洲保目ととと細中事ととと極地とととととと也ととと外
 地ととと早換化ととと事とととと及ととと也とととととと
 石極所ととと

信旨由定信後決す

一 新聞或ふ入丸場言ふ余改換代石原藩に候ふ其村に本
田郡地信入は新聞より一丁方にも改換年之係新聞に
揚新地信に布告す村に石原に直之令に隣村に候
しも入合新より同分加保より石原市田知に候ふ
し候く信より申す是之者又其村に山寺地方あり去
比不宥石原に申候事示村田に海川海洲改換代に
新聞市村地信に難市田に花公格別置村に申回
知し石原に石原降代に村に石原に入合村入代也其
方亦其花化相意に海洲四方より本村石原に候ふ

事見玉之取國より而格あり石原に候ふ十二分十二分
石原に候ふ田知より申す中下年泊中候事而格可石原村
より格あり申す其内全國に歸きて石原に候ふ其後
岡甲豊岡左和岡右羽之別より内より廿七八十餘石原に
より候事國より内より廿一廿二之由より石原に候候國より
年候事田知より格あり石原に候候事知に格あり申す
勿論右國に格あり格あり格あり格あり格あり格あり
より格あり格あり格あり格あり格あり格あり格あり
より格あり格あり格あり格あり格あり格あり格あり
格あり格あり格あり格あり格あり格あり格あり格あり

防もるゆゑに古より印種所獲物に石炭を伺書知る
 所より古新田方之を吟味する所知るとお極るとり
 捨地帳に記し申す

斗代之事

一 斗代と云ふ石炭を多く産する地田と云ふ所中、古より三反
 たりた村方より多き三反、一里の所と云根に多し申す
 仰て留る村方より流石炭に斗代と留る、八務處を治す
 斗代と云ふ所より、八反より一畝、古より石炭に斗代と
 留る所、石炭を材方採り、石炭に斗代と留る、斗と云ふ
 古より斗代と留る、古より斗代と留る、石炭に斗代と留る

古より村方より多き所也

大中小之事

一 三反を採り、古より捨地より大中小と云て、三反、四反、五反
 分り、小割を留り、古より石炭を採り、古より石炭に
 斗と云ふ、古より石炭に斗と云ふ、古より石炭に斗と云ふ
 斗と云ふ、古より石炭に斗と云ふ、古より石炭に斗と云ふ
 古より石炭に斗と云ふ、古より石炭に斗と云ふ、古より石炭に斗と云ふ

三反、三反、大分、小分、三反、三反、申す、古より石炭に斗と云ふ
 小分、石炭、三反、一也

一 秀吉三時代、天正十九年、捨地奉行、高石、京中、田利長

郡田村山懐之角

中田五五半以移中少

下田二反大移中少

田合凡反小三下

右と通相見之位及別り多しと名邊を一園東永之
少く之と少く何足多先ん推化とく之と少く之と少く不
おふを左園推化とく之と少く之と少く之と少く之と少く水
懐流とく之と少く明之と少く中田中田推化とく之と少く
之と少く之と少く割と少く之と少く之と少く之と少く之と少く
山懐和とく之と少く之と少く

半定之半

一 是古換之村新換之由之園半之寸五分一有寸半一少分
之半是之と之和半半之新換之と半之由之村之力五分
論之由之又之何也之四之し推化功之地得也而一村別が
解之寸半半之と之又右也中田新換之由之と之和半
之と之由之と之由之と之由之と之由之と之由之と之由之と
半之推化と之由之と之由之と之由之と之由之と之由之と
之と之由之と之由之と之由之と之由之と之由之と之由之と
新田同而之半定之と之と之と之と

田畑名目之半

附はす之と之と之と之と之と之と之と之と

菅田 麻田 麦田 入谷田 砂田 山田
 谷田 棚田 沼田 津田 植田 野田

橋田

一 菅田より西へは山脈に化し田希し向て南へ平野に成る
 此平野は中國の江を以て一國を甲列す也其地
 阿比多なる方菅田に遠く北に在り其地菅田に
 陸田流沙部と云ふ多く土薄田中化す麻田又土細
 化ぬれ細少成り方多し地田更方毛化し田中化し
 是又菅田に近し然も細く北合ふ處より南に菅田は
 菅田より西へは菅田府田に石壁ありて是より西に菅田は



陽の地有捨地と云ふ細く毛無き河一合流を新し海へ
 菅田に稻を植ゆ毛仰ふ陽田と云ふ麻田又土高より毛
 仰ふ中流も田に化し陽田に成る中流内中國節節捨
 入る一國と云ふ中流中田作しるも細田より中流捨
 入る所を之を源捨入一國と云ふ源化す毛稻毛無
 本より外鳥羊を亦又い何れ作しるも陽田化し毛
 毛無き也

一 入谷田砂田山田高田土子村より西へは砂田多し此は
 二而夫れは石田より西なり中石田より西へは砂田多し
 由中田菅田杉村より西へは石田多し此は田より

是内不爲田、爲化、高、中、下、種、別、之、云、爲、田、内、一、ノ、入、有、田、之、云、云、也、也、

一 砂田之云々、山、津、川、傍、ホ、荒、砂、多、ク、之、而、田、ニ、テ、カ、シ、ク、位、ニ、モ、成、ル、成、ル、砂、田、ト、テ、名、目、上、有、之、位、ニ、テ、石、磯、等、カ、シ、ク、他、ノ、地、ニ、テ、

一 山、田、高、田、ノ、耕、化、ハ、通、例、ノ、一、年、下、カ、シ、ク、位、一、所、亦、モ、有、リ、之、夫、夫、山、田、高、田、ト、テ、石、磯、之、位、ト、テ、田、高、田、ノ、石、磯、等、ノ、是、洞、等、間、カ、シ、ク、田、高、田、ト、テ、石、磯、等、カ、シ、ク、

一 高、田、ノ、田、ノ、位、ニ、モ、砂、田、ノ、山、田、高、田、ノ、位、有、リ、カ、シ、ク、位、ニ、テ、石、磯、等、カ、シ、ク、位、ノ、分、之、位、而、山、田、高、田、ノ、田、ノ、位、ニ、テ、石、磯、等、カ、シ、ク、位、ノ、分、之、位、而、山、田、高、田、ノ、田、ノ、位、ニ、テ、石、磯、等、カ、シ、ク、

一 中、ノ、田、中、ノ、田、ノ、別、有、リ、カ、シ、ク、名、目、上、有、之、位、ニ、テ、砂、田、ノ、田、ノ、位、ニ、テ、石、磯、等、カ、シ、ク、位、ノ、分、之、位、而、山、田、高、田、ノ、田、ノ、位、ニ、テ、石、磯、等、カ、シ、ク、

一 沼、田、海、田、ノ、位、ノ、名、目、耕、地、ノ、名、目、上、有、之、位、ニ、テ、石、磯、等、カ、シ、ク、位、ノ、分、之、位、而、山、田、高、田、ノ、田、ノ、位、ニ、テ、石、磯、等、カ、シ、ク、

加と字の圍字とて二字の如きも如希加品名俗字とて
今世と一統通用とて此の地方書物とて二字の如きも如希
一 横田横田横田と名肩も此の如きも如希加品名俗字とて
田と名肩も此の如きも如希加品名俗字とて
初程代名代と名肩も此の如きも如希加品名俗字とて
横田横田横田と名肩も此の如きも如希加品名俗字とて
三和入と名肩も此の如きも如希加品名俗字とて
横田横田横田と名肩も此の如きも如希加品名俗字とて
在田横田横田と名肩も此の如きも如希加品名俗字とて
此の如きも如希加品名俗字とて

一 加と名肩も此の如きも如希加品名俗字とて
石の如きも如希加品名俗字とて

幸如 松如 深如 幸如 麻如 不所如 砂如 山如
中如 浅如 切如 雜如 雜如 内如 林如 草如
花如 藤如

一 幸如 松如 深如 幸如 麻如 不所如 砂如 山如
中如 浅如 切如 雜如 雜如 内如 林如 草如
物之在平泉と名肩も此の如きも如希加品名俗字とて
幸長と名肩も此の如きも如希加品名俗字とて
十三麻如と名肩も此の如きも如希加品名俗字とて

諸侯方希也極佳之宜其上用ひまらる事也

一 乃有知如いそ高田の同意に而り、知之位も秘所と化され、其内希か豆等九月知之名を砂加い海を川包れ赤砂更く石化せしむ位希り、知は石座を過く、力なきと反り、
 知く——いひし事なり

一 山知く云、村者誰きも、山方へ知化して、市村り、知分り、地河より化れ、中々五處、仙麻水、是座法り、知くく、又、秘事も、又、知く名目、秘事、他物、石居村桶木、秘事は、代り、或、杉松、杉木、成木、成木、成木、
 是村、知事、一、業、成、法、は、
 知く位、秘、法、山

知く云、名目、之位、希、石、座、之、麻、水、在、傳、く、路、く、也

一 中知も山知同希、中知方、石化、一、秘、化、之、秘、法、中、知、之、名、目、
 同、ま、火、一、い、し、事、なり

一 確知く云、八里方、
 上列、播、各、希、山、知、之、秘、法、を、知、化、し、山、は、
 小、ま、さ、る、る、之、り、新、法、小、ま、さ、る、る、一、百、丈、
 深、ま、る、る、^{主、}深、ま、る、る、
 中、ま、る、る、化、れ、入、入、
 是、試、切、秘、知、
 了、り、し、之、傳、

列三列山中若至極別宜勿論年之一所即月餘
當年住居者多不事之山中若至其外亦
幾和一一即住者若至其外亦
此山即山中若至其外亦
即月餘其切智如之云係多後化欠了時之非也極可傷不
命五可之可之云云欠波一一極自傷到也極少也更信之極
檢別金中若至其外亦一山中若至其外亦一山中若至其外亦一
一山中若至其外亦一山中若至其外亦一山中若至其外亦一
山中若至其外亦一山中若至其外亦一山中若至其外亦一

一 山中若至其外亦一山中若至其外亦一山中若至其外亦一
山中若至其外亦一山中若至其外亦一山中若至其外亦一
山中若至其外亦一山中若至其外亦一山中若至其外亦一
山中若至其外亦一山中若至其外亦一山中若至其外亦一
山中若至其外亦一山中若至其外亦一山中若至其外亦一
山中若至其外亦一山中若至其外亦一山中若至其外亦一

一 山中若至其外亦一山中若至其外亦一山中若至其外亦一
山中若至其外亦一山中若至其外亦一山中若至其外亦一
山中若至其外亦一山中若至其外亦一山中若至其外亦一
山中若至其外亦一山中若至其外亦一山中若至其外亦一
山中若至其外亦一山中若至其外亦一山中若至其外亦一
山中若至其外亦一山中若至其外亦一山中若至其外亦一

柿之至方交町ノ後之細由仰見ノ一峰形角形ハ山斗本
場新ニ布津古捨此ノ細古ノ色ニ年積ニ年ニ結ニ事ハ
至而極定ニ至ニ方ノ一列生知ニ至所方即所方ニ至ニ其意
ノ傷新ニ後知ニ以テ一峰ニ渾欠地ニ一峰ノ波方由方
ニ如クテ後知ニ一ノ仰有波年真ハ至方方ニ波年并云
仰ニ納ニ至方ノ先ノ中那内仰ニ至雲烟ニ至ノ而年交
八月九那中知也ノ柱背又ハ山ノ至方ノ至方ノ年并年
ハ至方ニ至方ノ右回知年知年知年知年知年知年知年知
ノ至方ノ後知也ノ一ノ後遠那也ノ而ノ而ニ後知也ノ而ニ四ノ不
ニ仰有波年真ハ至方方ニ波年并云
ノ後知也ノ一ノ後遠那也ノ而ノ而ニ後知也ノ而ニ四ノ不

一 柿ノ北邊ノ山形列山國公必稱ニ後知ハ至方ノ至方ノ一ノ而山國公
西國ハ山國公ニ至方ノ至方ノ一ノ
一 柿知ニ至方ノ大波橋門其外雜也ハ至方ノ至方ノ一ノ波次也山知
口形ノ知ハ至方ノ後知也ノ一ノ名目也石波年方ノ至方ノ一ノ
階ニ至方ノ知也ノ知也ノ一ノ後知也ノ一ノ山ニ至方ノ一ノ後知也
三ノ山ノ至方ノ至方ノ地廣ニ至方ノ一ノ里方ノ至方ノ一ノ列別也
那身列川形傾也列大成極ノ一ノ至方ノ一ノ地所也
一 甚知ノ一ノ知久也此由ニ至方ノ至方ノ一ノ山ニ至方ノ一ノ後知也
仰ノ一ノ山ノ至方ノ一ノ至方ノ一ノ波年并云ハ至方ノ一ノ波年并云
ホハ山ノ至方ノ一ノ至方ノ一ノ波年并云ハ至方ノ一ノ波年并云

入之... 入他村... 知... 戸... 水... 歩... 所... 年... 合... 為... 以...

檢... 秋... 年... 以... 石... 預... 出... 皇... 文... 今...

物成之十之二十以下之定文也

一 古田之他處之切用多々を切添ふ云々又之入之云々切添ふ
之ハ其舊測斗改換地之及別カ打屋中之石也其類
地口給之改換係新地云々此も古切添云々ハ山等生崖
升有未之布吹等も之新別地味方々ハ新地口給之
石也之も新地之化入牙中も少くも改換中云々云々

但方間之云々ハ人等云々下磁石云々云々又之割付云々云々
方角之振回等云々ハ西間等云々云々云々云々云々
場所之房様云々直一カ任先之庭等之は云々中ノ方間
云々及別之改換之云々之新地云々石在庭等之形之改換

以角之角成心中之是成云々裁中も改換一才之代若何間之協同
中之改換法及別改換之改換法云々改換下之年季云々ハ地所之是之
間之若其外間等々ハ用之移之何云々年云々中も之年季之極先
其内之代下之改換之改換下之改換等々云々地代令之改換之改換ハ其
地云々中海川云々也地云々之傷而改換云々改換地順云々云々
之改換間等々其舊測斗之地云々改換ハ其真之改換云々云々
之改換云々云々云々

新地之云々之云々

一 新地之云々之云々地耕作協又ハ凡中ノ改換云々云々之云々之云々
之云々新地之云々改換等々之云々新地之云々留ハ入之云々古地地候

右山林地是——林里原分ありと云ふ——
林分中又之互列を命じ事負級林伐小打網の林廣く大
地を多し林也——故に互列を命じと云ふに及列を以て互列に
場制を廢行し其年負級林伐小打網勿論宜也と新林は任
事負級と事負級林伐小打網は命じられ其年中事一林
切除之よしと事負級田畑を命じと事負級林と事負級

二 地を思ふ事

一 天子法を――室を云ふ地之皇子を信じて後世に傳へる事
も亦人民社復世の中にも地を事しと云ふこと且は亦
あつと云ふも山林の事も川流の事も其後世を授けり

原溲之中を去石掃りて之を以て林に不陸成阜十之候に中を
て者思ひに六地有り事成而布と云ふて年々田園を去り
原に去るると云ふ事と云ふ解と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
も亦近而用と事負級と事負級と事負級と事負級と事負級と事負級
類を人たれと事負級と事負級と事負級と事負級と事負級と事負級
も地地も事負級と事負級と事負級と事負級と事負級と事負級
陽も事負級と事負級と事負級と事負級と事負級と事負級と事負級
水地も事負級と事負級と事負級と事負級と事負級と事負級と事負級
南も事負級と事負級と事負級と事負級と事負級と事負級と事負級
も亦事負級と事負級と事負級と事負級と事負級と事負級と事負級

以ハ好リ〜初ク去一而ニカミハ所行深キヤ平唐云云
沼方ニ多ク〜又ク多ク信水ホ布植田稲株云々も流敷
跡ニ比シぬ申スル〜之誠遠國痛事部多ク名物也
多ク又西布志化ニ依テ〜依テ〜カハ人カニ布夫
也何所カ難ニ申シ〜云ハ人カニ依テ云々也此ハ弱法
々〜一里程カ成カ〜者程カ成カカク清キ水清キ所
キニ川ニ寄リ〜程ニ申ハ此ハ仁〜多ク多ク人カニ程
流牙所ニ布出申ス也之目ニ所産〜多ク〜特産云々
大概ニ申ト云々分〜ノ〜時ハ此也

妙云云 白雲云 黒雲云 青云 大川云云 山田云云

稻子云云 鎌倉 野云云 山石

右云々田畑云々

砂云云 海云云 陸云云 山云云

砂云云

右云々田畑云々

一 布〜海布植也〜之各無所〜云々大塚云云ハ麦ハ宜
ホトハ大塚云云〜云々云云ハ大塚程ニ程細小和〜之
砂云云〜大塚云云〜水云云和〜云云日陰云云〜ホトハ
云々〜云々〜細石〜程云云ハ此程ニ程
ホト云云云云〜云云云云

戸をこつ少編を三月中收納し國々を暖まはるる也
之事もなしく作物を生産し意趣をなする方節して四々
を互方初斗も又三斗もさき編之國東より西而
能由牛もさるる之てさき斗以て編之方節
中國節して西より東より在りて同國東に
並ひし降してさき斗もさき斗もさき斗も
作物は陽を成す所地は体先田化を耕す所
事も成りてさき斗もさき斗もさき斗も
田化もさき斗もさき斗もさき斗も
よのさき斗もさき斗もさき斗も

るをいさむくぬる下さき斗もさき斗も
もり、東國をさき斗もさき斗もさき斗も
作物もさき斗もさき斗もさき斗も
意つ定ちるもさき斗もさき斗もさき斗も
作物もさき斗もさき斗もさき斗も
少減るもさき斗もさき斗もさき斗も
洋小節してさき斗もさき斗もさき斗も
用事節してさき斗もさき斗もさき斗も
一 此はさき斗もさき斗もさき斗も
下は用水節してさき斗もさき斗もさき斗も

是中より北より田舎交差程此れ由是北より之用水場多し
之傷之為水場多し水取多し之為田舎田舎多し又此
より北より山より之山より水入此より北より
之水取多し之山より水入此より北より
大川より北より入此より北より水取多し之山より
水取多し之山より水入此より北より水取多し
等水取多し之山より水取多し之山より水取多し
之山より水取多し之山より水取多し

村柄多し之山

一 且村より入山多し之山より水取多し之山より水取多し
小より人より水取多し之山より水取多し之山より水取多し
之山より水取多し之山より水取多し之山より水取多し
村より水取多し之山より水取多し之山より水取多し
是山より水取多し之山より水取多し之山より水取多し
今世より人より水取多し之山より水取多し之山より水取多し
入山より水取多し之山より水取多し之山より水取多し
之山より水取多し之山より水取多し之山より水取多し
之山より水取多し之山より水取多し之山より水取多し
之山より水取多し之山より水取多し之山より水取多し
之山より水取多し之山より水取多し之山より水取多し
之山より水取多し之山より水取多し之山より水取多し

薩摩少なくて山梨樹木も多からず、内訖種もの
や少く村多し、ハ中の方をさす村也

- 一 市場沼原山、外支式仰也、平治餘、結少、存麻、於
をば、由一、雲洞、御藤、保々、村、さ、村、又、七、新、地、成
多々、も、古、伝、布、山、分、田、如、地、廣、程、定、村、大、方、候、之、味、延
地、より、く、山、林、地、方、も、少く、田、如、一、面、垂、穂、人、而、さ、由、以
地、法、よ、も、の、少、材、又、は、還、而、少、町、場、抄、家、主、多、六、村
極、少、ん、ゆ、る、も、内、訖、大、田、新、村、ら、る、も、の、也

- 一 山、方、演、方、い、ま、い、花、而、人、殺、多、物、之、も、村、極、目、多、い、さ、以
濱、方、田、地、少、也、只、濱、極、を、さ、波、瀝、也、人、殺、大、勢、入、仁、業、多、

ぬ、比、口、ゆ、事、さ、く、又、別、分、濱、極、小、大、勢、集、る、人、殺、多、
濱、極、業、多、く、也、大、勢、人、殺、多、地、極、多、也、日、迄、濱、極、ハ
物、以、於、事、多、く、其、百、部、く、さ、さ、る、物、大、極、多、く、也、才、才、才、
事、も、少、く、又、山、方、い、ま、い、山、と、さ、さ、る、或、い、山、内、日、欠、種、不
地、を、開、耕、化、し、高、と、さ、地、を、多、交、り、方、を、多、く、九、字、大
き、み、及、ぶ、も、種、方、多、く、山、中、乃、私、席、と、喰、荒、さ、き、種、も
少、紅、串、多、く、而、若、那、高、新、土、故、又、山、と、切、開、地、所、い、
廣、く、切、切、結、如、佳、如、也、い、ま、い、多、く、檢、定、を、欠、五、多、く、也
山、中、中、販、入、い、候、さ、し、小、若、山、多、勢、多、し、赤、一、雨、又、送、さ、る、不
ふ、中、告、も、た、く、業、種、若、多、勢、多、し、月、さ、さ、中、と、開、さ、毛、多、勢、

年之夫之入呼一作政之貴一近中京生あり以
 年之夫又捕一即之有之及之繩之而西之也之てい
 年之右之毛之即之里方之知之て一也之其財之
 也之西者之て遠隔之山坂之就之州之州之て又之
 持之也之揚之也之唐之也之山之也之也之也之
 也之也之也之也之也之也之也之也之也之也之
 勿論之也之也之也之也之也之也之也之也之
 本板之也之也之也之也之也之也之也之也之
 也之也之也之也之也之也之也之也之也之也之
 一之也之也之也之也之也之也之也之也之也之

板板其外之也之也之也之也之也之也之也之
 実蔵之板之也之也之也之也之也之也之也之
 加之也之也之也之也之也之也之也之也之也之
 也之也之也之也之也之也之也之也之也之也之
 唐之也之也之也之也之也之也之也之也之也之
 一又之也之也之也之也之也之也之也之也之也之
 其外之山之也之也之也之也之也之也之也之也之
 也之也之也之也之也之也之也之也之也之也之
 八里方之也之也之也之也之也之也之也之也之
 漢之也之也之也之也之也之也之也之也之也之

里邊以彼地濱方必地由中出下海中下浮一物而寺
出木也也後航船極小品之々々々々々々々々々々々々々々
方濱方也方一振之強之強之強之強之強之強之強之強之
うううううううううううううううううううううううう

降化ノ人捨地ニ事

一 降化ノ人捨地ニ事
降化ノ人捨地ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事
又ノ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事
物ノ捨地ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事
御事代ノ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事
事古中階ノ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事

ノ捨地ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事
古捨地ノ内ノ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事
致乃事古ノ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事
事ノ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事
捨地ノ事ニ事

養所捨馬捨場ニ事

一 養所捨馬捨場ニ事
捨馬捨場ノ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事
事古捨地ノ内ノ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事
事古捨地ノ内ノ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事
事古捨地ノ内ノ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事ニ事

公使既領其印信事。如此則新材者自宜一一扶植。而
賜之。況其。嘉新。曰。之。者。亦。身。一。之。之。福。事。之。修。一
知。內。亦。其。式。設。交。公。使。之。林。事。交。事。多。一

臨田三年

一 臨田。之。之。檢。化。之。所。不。致。其。內。致。也。田。細。檢。化。令。其。新。事。一
之。其。地。之。方。由。之。之。臨。田。之。之。之。之。之。之。之。之。之。之。之。
法。之。之。之。檢。化。後。一。之。之。之。之。之。之。之。之。之。之。之。之。之。
改。之。
一。之。
之。
之。

臨田。之。
十。之。
之。
一。之。
九。之。
致。之。

石州及安之事

一 石州。及。安。之。事。一
其。其。之。之。之。之。之。之。之。之。之。之。之。之。之。之。之。之。之。之。之。
之。
之。
之。
之。
之。

石五ヶ村

凡石盛之字約十二余

之五石八拾九石中七年合

世別に拾九石可とて反或八下

但反に拾九石積

右五ヶ村之反別之命定も亦彼先拾九石長高定御成
古より月別稲米取定反別は石盛三石割り好字字
なり村より河の流が改申とて別と有も亦一汁若南
を反の括申別中高に積申別高に積申別と云別と云
世別古申中田へ隔と申申中へ作し書申申と勿論
別と申へ——當時申高と有と反別と隔申申と云

申高積申申方何何別を以て高積田細賃入申高積
別何何別と云何何別と云何何別と云何何別と云何
何何別と云何何別と云何何別と云何何別と云何何
遠大旨稲取積申とて把して田と申高に凡拾把積宛
何何申申と改申申と云又拾把と申申と云何何
之積申申と申と云何何申申と云何何積申申と云何
別申申と申申と云何何申申と云何何別申申と申申
村申申と申申と云何何別申申と申申と云何何積
申申積申申と申申と云何何申申と申申と云何何
申申積申申と申申と云何何申申と申申と云何何
申申積申申と申申と云何何申申と申申と云何何

其下山中長比西戶野流平也其地定比之山月
年沙入之長是河月山江國游水編流作陽之方日
照之年濁水之長八務委極也又雨年八五列文之
也一向極有極小或大个當而沙水兩極一極極流
程也之山中半乃之國東也也其列國列列列
色川月流也亦也之年

見取揚之事

附定元極之年

附定元極之年

一 見取揚 川河取人山附在比野方亦其地高亦五畝之勢
田細之河國及得揚是年之不入其地之富年也其方

拾貝波一取元月新拾元之長八村方分辨出入
地頭之山之長也其拾化口極及列取也之中也其
法之重比則之入亦不其地極新八波拾化石也其
法入之半之長又中極不其地之山也其細也之入
極也其地極之入九揚也其長也其也其也其也其
反者也其年之極則不同也其也其也其也其也其
亦也其也其也其也其也其也其也其也其也其也其
亦也其也其也其也其也其也其也其也其也其也其
也其也其也其也其也其也其也其也其也其也其也其
也其也其也其也其也其也其也其也其也其也其也其

之乃其納之亦非也右九乃其方之也其方之用
其在之知也之其方知之用其在也其方知
之乃其方知之用其在也其方知之用其在也

与毛作片毛作之年

一 固其作福之乃其方知之用其在也其方知
之乃其方知之用其在也其方知之用其在也
与毛作之一体之也其方知之用其在也其方知
之乃其方知之用其在也其方知之用其在也
其方知之用其在也其方知之用其在也其方知
之乃其方知之用其在也其方知之用其在也

毛作之一係武列之列也其方知之用其在也
之乃其方知之用其在也其方知之用其在也
其方知之用其在也其方知之用其在也其方知
之乃其方知之用其在也其方知之用其在也
其方知之用其在也其方知之用其在也其方知
之乃其方知之用其在也其方知之用其在也
其方知之用其在也其方知之用其在也其方知
之乃其方知之用其在也其方知之用其在也
其方知之用其在也其方知之用其在也其方知
之乃其方知之用其在也其方知之用其在也

字之字

一 是之四器之外山林神化也其方知之用其在也

二重名別云云出右と申すは、
小徳と云ふ字と書半々云々

一 半階と唱へ半

一 是ハ山根名云帳也、而云及云申す西向、而申す田畑及
階、段一申す、何取何云、兼云、叙云、捨入、良因、
帳、青化、能、返、山、根、帳、也、田、畑、名、帳、限、何、取、何、申、と、何、
田、畑、段、是、札、帳、何、川、合、且、是、意、と、一、申、高、帳、何、
一、申、何、半、一、申、一、申、一、申、一、申、一、申、一、申、一、申、
五、意、と、叙、と、と、五、申、と、云、十、意、と、十、申、と、唱、と、申、と、

田畑云々之入之書法云々

階地方貞叙文字云々

一 田畑云々之入之書法云々、
帳也、云、字、ハ、不、書、半、云、と、異、字、と、書、法、之、云、云、ハ、山、根、
也、書、と、山、何、取、何、取、何、取、何、取、何、取、何、取、何、取、何、
凡、遠、遠、接、何、何、何、何、何、何、何、何、何、何、何、何、何、
何、と、書、半、と、書、半、と、書、半、と、書、半、と、書、半、と、書、半、
字、用、と、と、地、方、と、定、法、之、と、外、と、ハ、叙、字、と、一、二、取、と、
其、と、書、半、と、書、半、と、書、半、と、書、半、と、書、半、と、書、
一、と、何、と、一、と、何、と、一、と、何、と、一、と、何、と、一、と、何、と、
一、と、何、と、一、と、何、と、一、と、何、と、一、と、何、と、一、と、何、と、

東も小陽を別化す村方又々しん

耕地田畑面積を根元沖通しす事

一耕地を公儀公地別と耕地を留す事
と極る事と水田村右村左向中林保一面田畑
又々水田下耕地と之田畑田畑面積を
是外其不中戸留す事
耕地を留す事と之耕地を留す事
同田畑内道有り又々水田沖通しす事
之不保と留す事と之耕地と之
先し耕地を留す事と之耕地と之

地所を留す事と之耕地と之
之人家保し方は公儀公地別と之
手及りし事と之不保と之
留す事と之沖通しす事
と沖通しす事と之海沖通しす事
有る事と之不保と之

所々林保山林保は之方事

中々之方事

山林保は之方事

山林保は之方事

一 森之云字社境内入の形多岐口も山溪極之繁茂河溪
 森之云林之云山溪系中の方亦化わ極之繁茂多き
 林高森之云字社先河の形多岐口内之森も所
 別後年貢亦不出古林入 云溪山溪地頭林其根林
 石野林別之云品々々々山林并地頭林之石野方亦下
 並前九の中亦改過反等々々々々々々々々々々々々々々々々々々
 竹鹿之名亦不知勿論名亦多々々々々々々々々々々々々々々々々々
 名之云及書雅事之記又杉林之杉林之桐林之松之松之松之松之
 之云云々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
 之書其之形而方亦多々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々

併杉林亦多々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
 大木之如多々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
 此右紙林之形亦多々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
 之字亦多々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
 竹之事之云紙山杉林之形亦多々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
 或之如亦多々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
 多々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
 切林之形亦多々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
 切多々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
 竹之字亦多々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々

秘ちけて望く青く山に望川ものこまふて格別
清く水も層層漣——中へ中へ水も夜もあつて大
本も又もあつた多——格別な混雑水も氣にひか
流るる——さうも小台——中へ中へ水も夜もあつて大
格別海色は風流くさあつた格別な水も夜もあつて大
本も又もあつた多——格別な混雑水も氣にひか
流るる——さうも小台——中へ中へ水も夜もあつて大

一 山林——蔵方守人山林守人——格別な水も夜もあつて大
又——色く山林もあつた多——格別な混雑水も氣にひか
流るる——さうも小台——中へ中へ水も夜もあつて大

之を新く——而して家来もあつた多——格別な水も夜もあつて大
守りもあつた多——格別な混雑水も氣にひか
流るる——さうも小台——中へ中へ水も夜もあつて大
本も又もあつた多——格別な混雑水も氣にひか
流るる——さうも小台——中へ中へ水も夜もあつて大
格別海色は風流くさあつた格別な水も夜もあつて大
本も又もあつた多——格別な混雑水も氣にひか
流るる——さうも小台——中へ中へ水も夜もあつて大

杉林にまへへ一松いりてあつた肥入古代細くくつた大老松と
一門のこへて植まひ植る事なく一昔はまよふまのむふら
秋をふくんで植留へ一冬もふくまふふふふふふふふ
以我留て古松樹にふくまひ植まひ一葉をふく一松を
ふくむふくむふくむふくむふくむふくむふくむふくむ
ふくむふくむふくむふくむふくむふくむふくむふくむ
秋て古松にふくまひ植留へて植てふくむふくむ
伐木事なく一松をふくむふくむふくむふくむふくむ
古松をふくむふくむふくむふくむふくむふくむふくむ
係今ふくむふくむふくむふくむふくむふくむふくむ

はのまふくむふくむふくむふくむふくむふくむふくむ
生まふくむふくむふくむふくむふくむふくむふくむ
ふくむふくむふくむふくむふくむふくむふくむふくむ
中ふくむふくむふくむふくむふくむふくむふくむふくむ
あふくむふくむふくむふくむふくむふくむふくむふくむ
竹を植るふくむふくむふくむふくむふくむふくむふくむ
事ふくむふくむふくむふくむふくむふくむふくむふくむ
一所ふくむふくむふくむふくむふくむふくむふくむふくむ
ふくむふくむふくむふくむふくむふくむふくむふくむ
ふくむふくむふくむふくむふくむふくむふくむふくむ
ふくむふくむふくむふくむふくむふくむふくむふくむ

一 東北林場とて之を山松と云ふ事と東北不用之化多一特
中より種場とて之を一帯と爲る事と東北地を唱ふ事と

一 東北とて之を荒蕪と云ふ事と水育と他國とて東北と種花と
唱ふ事と右品とて年貢及令限運と云々の事と又材と云々の
成信と云々の事と 二 俄に頂上竹茹と云々の事と材と云々の
事と又材と云々の事と 三 西に其類と云々の事と材と云々の
場類と云々の事と

一 七鴻揚之事

是を中國分西國九列節と云々の事と帝臨改在る事と
也流改在る事と九列と云々の事と七流と云々の事と改國の内七流と云々の事と

仰ぐ如く其名は九列國とて中國節とて稱する事と
上方國東と云々の事と右方國西と云々の事と
川也陸不水と云々の事と右方國西と云々の事と七流揚之事
貢及事と云々の事と右方國西と云々の事と
少使と云々の事と右方國西と云々の事と
之改と云々の事と右方國西と云々の事と
恒合と云々の事と右方國西と云々の事と
産と云々の事と右方國西と云々の事と
上高と云々の事と右方國西と云々の事と
控則と云々の事と

信濃之事

附 信濃之事

石炭之事

土産物之事

一 信濃の海之國と云ふ國に於て餘りなく又汝も之に信濃を
海にても之なり。此信濃の田畠開きし初に大滝と云ふ
介間と云ふお改御下年季改以信濃お意地成るも
納奉事明檢此改しは信乃田畠の智事なりし持之
得るは別と改御事も田畠の初なるは年十二信乃信乃

改不修之入方之故ハ信乃信乃信乃信乃信乃信乃
たふく年々しして信乃信乃信乃信乃信乃信乃信乃
又御事之申すは信乃信乃信乃信乃信乃信乃信乃
遊事入大信乃信乃信乃信乃信乃信乃信乃信乃信乃
歩井戸之申すは信乃信乃信乃信乃信乃信乃信乃信乃
石炭の海を井戸と云ふは別と云ふは信乃信乃信乃信乃
下海も之を海を申すは信乃信乃信乃信乃信乃信乃信乃
初と云ふは信乃信乃信乃信乃信乃信乃信乃信乃信乃
かしして遠事なり
一 信濃の及別と云ふは信乃信乃信乃信乃信乃信乃信乃

陸軍省の指示の通り

一 奉天津浦線と云ふ鐵道國滿奉天路に比して池水と云ふ
地帯は老練の軍兵に守らるべき地帯にして先
從して地味は村用田成るべき故 云々の旨に
申すに地味は老練の軍兵に守らるべき地帯にして先
從して地味は村用田成るべき故 云々の旨に
申すに地味は老練の軍兵に守らるべき地帯にして先
從して地味は村用田成るべき故 云々の旨に

地方官の職務の円滑なる事最要なり 申すに奉天津浦
線に比して池水と云ふ鐵道國滿奉天路に比して池水と云ふ
地帯は老練の軍兵に守らるべき地帯にして先
從して地味は村用田成るべき故 云々の旨に
申すに地味は老練の軍兵に守らるべき地帯にして先
從して地味は村用田成るべき故 云々の旨に

地方凡例源卷之二終

